

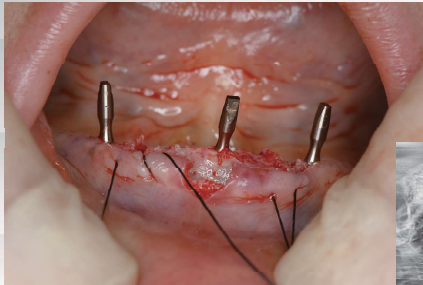
TRANSITIONAL MINI IMPLANT

TM IMPLANT

TM IMPLANTは2次手術までの安静植立期間における荷重負担、創傷部の保護、およびテンポラリーレストレーションを目的とした $\phi 2.0$ の暫間インプラントです。

口腔内でネック部からベンディングを行うことによりフレキシブルな暫間補綴設計を可能にします。

材質にはJIS2種 純チタンを使用し、高い生体親和性と強度の両方を兼ね備えています。



販売名：プラトンTMインプラント
一般名称：歯科用インプラントシステム
クラス分類：高度難治医療機器
製造販売業者：(株)プラトンジャパン
医療機器製造販売届出番号：22300RZX00013000

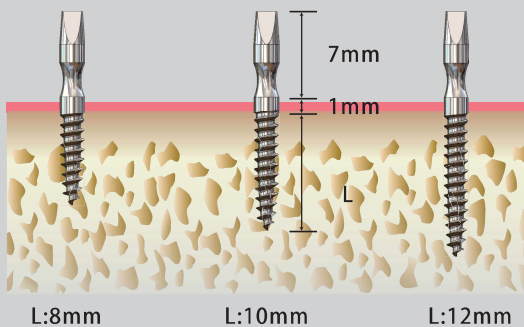
TM インプラント

TM プラスチック
コーピング

TM ハンドピース
ドライバ

TM ラチェット
ドライバ

TM ベンディング
ツール

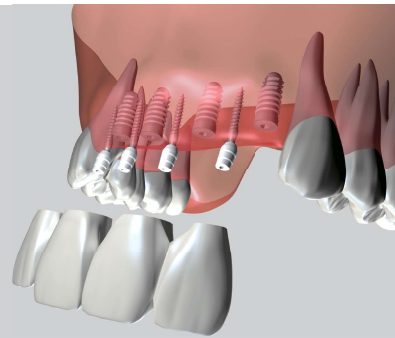


L:8mm

L:10mm

L:12mm

2本入り (TMプラスチックコーピング2個付)



臨床導入は初期セットで!!

販売名：プラトンインプラント・ツール
販売名：TMラチェットドライバ
販売名：TMベンディングツール

一般名称：電動式歯科用インプラントシステム手術器具
一般名称：歯科用インプラント手術器具
一般名称：歯科用インプラント手術器具

クラス分類：管理医療機器
クラス分類：一般医療機器
クラス分類：一般医療機器

製造販売業者：(株)プラトンジャパン
製造販売業者：(株)プラトンジャパン
製造販売業者：(株)プラトンジャパン

医療機器製造販売届出番号：223AGBZX00166000
医療機器製造販売届出番号：13B1X10081000018
医療機器製造販売届出番号：13B1X10081000021

 <http://www.platonjapan.co.jp>
PLATON JAPAN



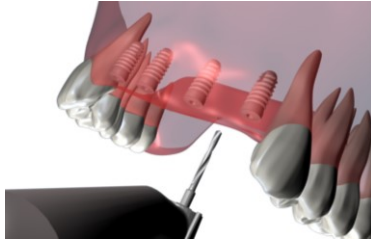
TEL : 0120-36-8950
FAX : 0120-36-8952

本社 〒195-0062 東京都町田市大蔵町 56 鶴川アカデメイアビル

TEL: 042-734-8088 (代) FAX: 042-734-1109

TMインプラント術式

① ドリリング

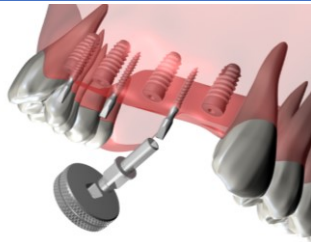


埋入されたフィクスチャー間の近遠心の中に植立するポイントを決し、 $\phi 1.3\text{mm}$ のスターティングドリルで方向と深さを決定します。

(もしくはガイドドリル $\phi 1.8\text{mm}$ で皮質骨部を穿孔し、TMインプラントの植立方向を決定します。)

近遠心の距離が不足する場合は舌側、口蓋側寄りに植立し、インプラントや隣在歯との間に十分な距離(1mm以上)を確保します。

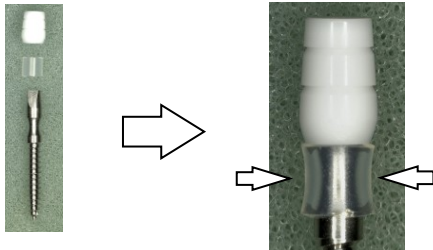
③ 植立深度コントロール



TMラチェットドライバーとラウンドドライバーを使用して、植立深度のコントロールを行います。

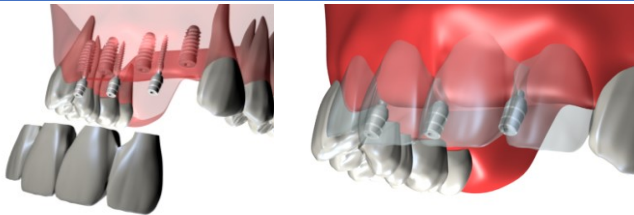
適正な位置を確認し、粘膜縫合を行います。

⑤ ブロックアウト用レジンガードチューブ装着



TEK(暫間補綴物)とTMプラスチックコーピングを固定する際、ヘッド部のアンダーカットに余剰レジンが入り込まないように、あらかじめシリコン製のレジンガードチューブを装着しておきます。

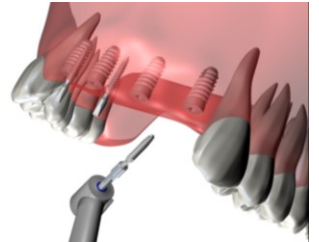
⑦ TEK(暫間補綴物)接着



TMプラスチックコーピングと暫間補綴物が干渉しないように空隙を設け、隙間に即時重合レジンを流し込み、コーピングを取り込みます。

コーピングはメタクリル樹脂製のため、即時重合レジンと接着します。暫間補綴物に取り込まれたTMプラスチックコーピングを、TMインプラントに仮着セメントで固定します。

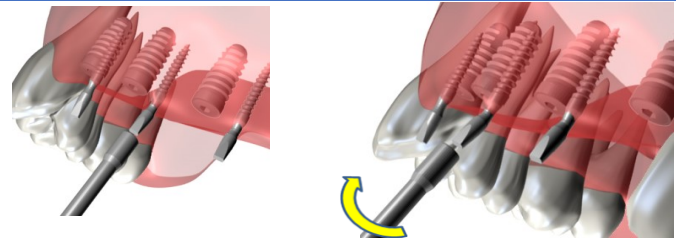
② TMインプラント植立



TMハンドピースドライバーをコントラに装着し、TMインプラントを、回転数20~25rpmで植立します。推奨埋入トルク値は15Ncm以下とし、30Ncm以上の過度なトルクをかけないようにしてください。

手指の場合は、TMラチェットドライバーとトルクラチェットを使用します。トルク値はコントラ埋入と同様です。

④ ベンディング



口腔内に植立されたTMインプラントの平行性が悪く、角度調整が必要な場合は、TMベンディングツールを装着し、ネック部で注意深く曲げます。

TMインプラントを繰り返し曲げると加工硬化が起こり、破折することがありますのでご注意ください。

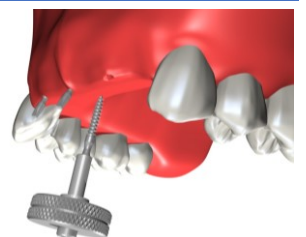
⑥ TMプラスチックコーピング装着



TMプラスチックコーピングをヘッド部に仮固定します。

※コーピングは未滅菌品ですが熱変形するため、オートクレーブでの滅菌は避けてください。常温環境でのガス滅菌もしくは薬液による消毒を行ってください。

⑧ TMインプラント撤去



併用したインプラントの骨結合達成後、TMインプラントから暫間補綴物を取り外し、TMインプラントのヘッド部に付着している仮着セメントを除去します。TMラチェットドライバーを装着し、ラウンドドライバーで反時計回りに力をかけ撤去します。※ベンディングされたTMインプラントは慎重に撤去してください。